

近江八幡市は、近江商人等に代表される近世からの要素とW.M.ヴォーリス氏らの社会事業等による近代的要素が混ざり合った歴史的都市であり、市内にはさまざまな建築や史料が今も残ります。

これら文化的資産は文化財等として保存・活用が進む一方、おもにコスト面で負担をもたらす存在となる可能性を持ち合わせており、その結果もたらされる建築の解体や史料の散逸などを防ぐことが喫緊の課題となっています。

本シンポジウムでは、文化的資産の保存・活用だけでなく、管理者にとってそれらが「負債化」しない方策を検討します。さらに、持続可能性をふまえた「事業化」についても関係者や自治体・企業の方々とともに思索を深めます。



旧八幡郵便局(W.M.ヴォーリス設計)

文化的資産の「負債化」を防ぐために

立命館大学社会システム研究所
2023年度公開学術シンポジウム

近江八幡の事例に どう向き合うか

開催日時

2024 03.09(土)

13:00-16:50 開場 12:30

会場

ヴォーリス学園 市井校地
高校東館講堂

滋賀県近江八幡市市井町177

参加お申し込み



<https://bit.ly/iss240309>

主催
立命館大学社会システム研究所

後援
滋賀県公文書館、近江兄弟社グループ、
京都新聞、立命館大学経済学会

お問い合わせ先
立命館大学社会システム研究所 事務局
social-s@st.ritsumei.ac.jp

13:00 開会あいさつ

..... 第一部 講演

13:10 「建築遺産の可能性 — 神戸・西宮・近江八幡からの気づき」

田淵 結氏 | ヴォーリス建築文化全国ネットワーク 事務局長、関西学院大学 名誉教授

13:40 「ガストロノミー・ツーリズムで街を元気に」

中村 慎一氏 | 株式会社ANA総合研究所 主席研究員

14:10 「歴史的価値を生み出すものは何か

— ヒストリカル・ブランディングの視点から」

久保 健治氏 | 株式会社ストーリーデザイン 代表取締役、武蔵野大学 / 神田外語大学兼任講師

14:40 休憩

..... 第一部 コメント

14:50 吉田 与志也氏 | 立命館大学社会システム研究所 上席研究員、
MSD株式会社 監査役、MSD生命科学財団 監事
大月 英雄氏 | 滋賀県立公文書館 主任技師
鳥野 茂治氏 | 近江八幡市総合政策部文化振興課 課長補佐
佐野 聖香 | 立命館大学経済学部 教授

15:30 休憩

..... 第二部 全体交流 (ファシリテータ: 敷 秀実氏 | 公益財団法人近江兄弟社 常務理事)

15:40 全体交流 (討論)

16:40 閉会あいさつ